

【研究概要】

切除不能な進行期肺癌への治療として細胞障害性抗癌薬以外にも近年では分子標的薬、血管新生阻害薬、免疫チェックポイント阻害薬が使用されている。しかし、免疫チェックポイント阻害薬などの高額な薬剤の使用頻度が高まり、国民皆保険制度である我が国での国費負担は増加し、社会問題となっている。本研究では進行期肺癌に対するがん治療薬として使用される細胞障害性抗癌薬、分子標的治療薬、血管新生阻害薬、免疫チェックポイント阻害薬に対する医療経済的なアプローチにて最も生存や無増悪に効果的に寄与する治療方法を探究する。